

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2002-241719 (P2002-241719A)
 【公開日】平成 14 年 8 月 28 日 (2002.8.28)
 【出願番号】特願 2001-312683 (P2001-312683)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 J 7/02

B 3 2 B 7/10

C 0 9 J 201/00

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

B 3 2 B 7/10

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 10 日 (2004.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、その基材の裏面に固定的に配置された接着層とを備え、

前記接着層は、接着面に所定の間隔をもって互いに離されて配置された複数の溝を有し、被着体の被着面に接着された時に前記溝と前記被着面とが画定する外部と連通するチャンネルを形成する、接着シートにおいて、

前記溝の配置間隔が $10 \sim 520 \mu\text{m}$ であり、

前記チャンネルは、前記接着シートを前記被着体に接着して 85°C で 30 分間加熱した後でも存在することを特徴とする、接着シート。

【請求項 2】

前記溝が互いに略平行に配置されている、請求項 1 に記載の接着シート。

【請求項 3】

前記チャンネルの容積は、前記接着シートを前記被着体に接着した初期に測定された値 I_n 、及び前記被着体に接着して 85°C で 30 分間加熱した後測定された値 A_h がともに、見かけの接着面積 1 mm^2 当たりの測定値で、 $1 \times 10^5 \sim 2 \times 10^7 \mu\text{m}^3$ の範囲である、請求項 1 に記載の接着シート。

【請求項 4】

J I S Z 0 2 0 8 に準拠して測定された前記基材の透湿度が $0.01 \sim 30 \text{ [g / m}^2 \cdot 24 \text{ 時間 - 厚さ } 30 \mu\text{m} - 40 \sim 90 \% \text{ R H}]$ の範囲である、請求項 1 に記載の接着シート。

【請求項 5】

前記基材が、フッ素樹脂、ポリ塩化ビニリデン及びポリオレフィンからなる群から選ばれた少なくとも 1 つを含有する低透湿度の樹脂層、または金属層を含んでなる、請求項 4 に記載の接着シート。

【請求項 6】

ポリカーボネートを含んでなる被着体と、その被着体の被着面に接着された請求項 1 の接着シートとを備えている、接着構造。